

| 分類 | 番号 | 19 不足理由(別紙1) |
|----------|----|---|
| ルートの設定不足 | 1 | 駅からの帰宅訓練が必要 |
| ルートの設定不足 | 2 | 帰宅経路の確認が必要 |
| ルートの設定不足 | 3 | 自宅方角と違った参加で意味ない |
| ルートの設定不足 | 4 | 実際のルートとは異なるので意味なし、無理に帰宅する方が危険 |
| ルートの設定不足 | 5 | ターミナルですべき |
| ルートの設定不足 | 6 | 津波も考慮したルートが必要 |
| ルートの設定不足 | 7 | 避難経路の想定 |
| ルートの設定不足 | 8 | ルートの設定が疑問 |
| ルートの設定不足 | 9 | 通勤圏内の大阪、兵庫、京都、奈良の2府2県連合の訓練を希望 |
| 訓練の意識不足 | 1 | 主催側の本気度・時間管理意識不足 |
| 訓練の意識不足 | 2 | 実施側と参加者の意識の差 |
| 訓練の意識不足 | 3 | 訓練の意識が低い |
| 訓練の意識不足 | 4 | 参加者の意識が不足 |
| 訓練の意識不足 | 5 | 地震後の川沿いの危険性、けが人等を盛り込む訓練、参加者に対する主体性・積極性をださず、主催者側の積極性を望む。 |
| 指示等が不十分 | 1 | 大きな声で指示、適切な誘導が必要 |
| 指示等が不十分 | 2 | 係りの人の声が小さくて何をしていたのか解らない |
| 指示等が不十分 | 3 | 声が小さい |
| 指示等が不十分 | 4 | 指示が聞こえない |
| 指示等が不十分 | 5 | 指示者の声が聞こえない |
| 指示等が不十分 | 6 | 情報が聞こえない |
| 指示等が不十分 | 7 | 情報が聞こえない、待機時間の長さ |
| 指示等が不十分 | 8 | 情報提供の声が小さい |
| 指示等が不十分 | 9 | 情報提供の声が小さい |
| 指示等が不十分 | 10 | 職員の声小さい、待ち時間が長い |
| 指示等が不十分 | 11 | 説明が聞き取れない |
| 指示等が不十分 | 12 | 説明が判らない、聞こえない |
| 指示等が不十分 | 13 | ナビゲーターの声が聞こえない、情報伝達が遅い、リーダーシップの人がわかららない |
| 指示等が不十分 | 14 | ハンドマイクは全く聞こえない |
| 指示等が不十分 | 15 | ハンドマイクは全く聞こえない、改善を要す |
| 指示等が不十分 | 16 | 誘導員の声が小さく、災害時には声が届かない |
| 指示等が不十分 | 17 | 誘導が聞こえない、何をしたらいいのか解らない |
| 指示等が不十分 | 18 | 誘導担当の統制がとれてない、声が小さい |
| 指示等が不十分 | 19 | 連絡事項は肉声では聞こえない、マイクは全引率者に必要、命令系統の統一を図る |
| 指示等が不十分 | 20 | 声が聞こえない、時間がかかり過ぎ |
| 指示等が不十分 | 21 | 誘導員の声が聞こえない |
| 指示等が不十分 | 22 | 誘導員の声が聞こえない |
| 指示等が不十分 | 23 | 誘導者の声が小さい |
| 指示等が不十分 | 24 | 指示が1本化していない |
| 指示等が不十分 | 25 | 指示が行き届いていない |

| 分類 | 番号 | 19 不足理由(別紙1) |
|---------|----|---|
| 指示等が不十分 | 26 | 指示等の迅速性が不足 |
| 指示等が不十分 | 27 | 指示がされていない、時間配分が悪い |
| 指示等が不十分 | 28 | 帰宅困難者役への情報が少ない |
| 指示等が不十分 | 29 | 地震発生への情報が不足 |
| 指示等が不十分 | 30 | 情報ツールの使用、代替交通以外の方法検討、自転車・徒歩の時間調査等 |
| 指示等が不十分 | 31 | 情報伝達が不十分 |
| 指示等が不十分 | 32 | スピード感に欠ける、待在者への情報提供がない |
| 指示等が不十分 | 33 | ボランティアとの連絡 |
| 指示等が不十分 | 34 | 連絡が不十分 |
| 内容等が不十分 | 1 | 待機時間が長い |
| 内容等が不十分 | 2 | 実際はこの様な行動は取れない |
| 内容等が不十分 | 3 | 切迫感、臨場感 |
| 内容等が不十分 | 4 | リアリティがない |
| 内容等が不十分 | 5 | リアリティにかけている、実際時を考慮してもっと訓練する必要 |
| 内容等が不十分 | 6 | リアル感がない、運営側も流れ・進行を理解していない |
| 内容等が不十分 | 7 | 緊張感がなく実感がわかない |
| 内容等が不十分 | 8 | 帰宅困難者の状況が感じられない |
| 内容等が不十分 | 9 | 緊急性、実際はバス、船は利用不可 |
| 内容等が不十分 | 10 | 緊張感がなく現実的でない |
| 内容等が不十分 | 11 | 緊迫感 |
| 内容等が不十分 | 12 | 緊迫感、緊張感が不足 |
| 内容等が不十分 | 13 | 緊迫感がない |
| 内容等が不十分 | 14 | 緊迫感の欠如 |
| 内容等が不十分 | 15 | 歩く距離が短く訓練の実感が無い |
| 内容等が不十分 | 16 | 実用性がない |
| 内容等が不十分 | 17 | 情報、スピード感不足 |
| 内容等が不十分 | 18 | 情報・対応のスピード感 |
| 内容等が不十分 | 19 | 大災害が起きた時は今回の訓練が活かされない |
| 内容等が不十分 | 20 | 訓練スタッフ、参加者の対応(訓練の訓練が必要) 真剣さがみられない 今後の反省として主催者側で考えたい |
| 内容等が不十分 | 21 | 訓練というより実験である |
| 内容等が不十分 | 22 | 訓練の進行に戸惑いを感じた |
| 内容等が不十分 | 23 | 訓練の内容設定があまい |
| 内容等が不十分 | 24 | 訓練をすることはよいこと。目的がはっきりしない。訓練の緊迫感がない |
| 内容等が不十分 | 25 | 形式だけの訓練 |
| 内容等が不十分 | 26 | 大阪駅から遠い、一般参加者が少ない |
| 内容等が不十分 | 27 | 帰宅困難者数が少ない |
| 内容等が不十分 | 28 | 帰宅困難者の人数はもっと多いのでは |
| 内容等が不十分 | 29 | 案内人の誘導が解らない |
| 内容等が不十分 | 30 | 急な時の対応が不明 |

| 分類 | 番号 | 19 不足理由(別紙1) |
|---------|----|---|
| 内容等が不十分 | 31 | 訓練で臨機応変ができないのに実際にたもつと混乱する |
| 内容等が不十分 | 32 | 訓練は冷静に対処できるが実際時は規律良くは進めない |
| 内容等が不十分 | 33 | 訓練目的等の周知 |
| 内容等が不十分 | 34 | 災害時のシミュレーションが不足している |
| 内容等が不十分 | 35 | 災害想定が不明確 |
| 内容等が不十分 | 36 | 災害想定が難しい |
| 内容等が不十分 | 37 | 趣旨が伝わらない |
| 内容等が不十分 | 38 | 何を目的としているか参加者に伝わっていない |
| 内容等が不十分 | 39 | 目的が不明確 |
| 内容等が不十分 | 40 | 平常時の訓練が必要 |
| 内容等が不十分 | 41 | 留まることの意識、本当にバス・船はでるか |
| 内容等が不十分 | 42 | 誘導が混乱していた |
| 内容等が不十分 | 43 | 継続した訓練の積み重ね |
| 内容等が不十分 | 44 | 応急施設が足りていない |
| 内容等が不十分 | 45 | 大震災を想定すると船着場が壊れて船の使用不可能と思われる。 |
| 内容等が不十分 | 46 | 津波時の川での船の利用が不可 |
| 徒歩訓練 | 1 | 災害時の徒歩情報、運河が可動しているか |
| 徒歩訓練 | 2 | 徒歩帰宅時の留意事項等を伝えるべき |
| 徒歩訓練 | 3 | 徒歩ルートで車椅子使用 |
| 徒歩訓練 | 4 | 徒歩ルートは広幅員道路を利用するのが良い |
| 徒歩訓練 | 5 | 交通手段が利用できる程度の災害であれば幸いですが、やはり徒歩による帰宅訓練が大切。それに伴う河川にかかる橋の情報が欲しい。 |
| バスの待ち時間 | 1 | バスの待ち時間が長い、指示が聞こえない |
| バスの待ち時間 | 2 | バスを待つ時間が長い |
| 要援護者 | 1 | 切迫感なし、女性・子供・高齢者・障害者の参加を、情報周知にはマイクを使用 |
| 要援護者 | 2 | 要援護者への配慮不足 |

| 分類 | 番号 | 20 自由意見(別紙2) |
|---------|----|-----------------------------------|
| 声が届かない等 | 1 | 9:30からの説明が遅く、全く聞こえず、時間がかかり過ぎ |
| 声が届かない等 | 2 | 運営係の声が小さい |
| 声が届かない等 | 3 | 運営者の声が小さい |
| 声が届かない等 | 4 | 大きな音で広く情報を伝える手段が必要 |
| 声が届かない等 | 5 | 大人数の中では大きな声で誘導が必要 |
| 声が届かない等 | 6 | 係員の声が小さい |
| 声が届かない等 | 7 | 拡声器は全く声が聞こえない、指示が聞こえない、マイクの方が良い |
| 声が届かない等 | 8 | 訓練内容説明の声が小さく聞き取れない |
| 声が届かない等 | 9 | 訓練の司令塔がはっきりしていない、聞き取りにくい。 |
| 声が届かない等 | 10 | 講堂での説明が聞き取りにくい、説明が早口すぎる |
| 声が届かない等 | 11 | 声が届かぬまま何をすればいいのか解らずのまま動いた。情報整理が必要 |
| 声が届かない等 | 12 | 声が届かない |
| 声が届かない等 | 13 | 声が小さい。参加者を座らせてほしい |
| 声が届かない等 | 14 | 声が小さく何をいつてるか解らない、訓練趣旨等の説明を改めてほしい |
| 声が届かない等 | 15 | 声が伝わるよう工夫が必要 |
| 声が届かない等 | 16 | 声を大きくして指示・誘導をするべき |
| 声が届かない等 | 17 | 指示が聞こえない |
| 声が届かない等 | 18 | 指示が聞こえない |
| 声が届かない等 | 19 | 指示が聞こえない |
| 声が届かない等 | 20 | 指示が聞こえにくかった。 |
| 声が届かない等 | 21 | 指示が不明確であった |
| 声が届かない等 | 22 | 指示が不明確でした |
| 声が届かない等 | 23 | 指示指導の声を大きな声で、(最初のマイクが聞こえなかった) |
| 声が届かない等 | 24 | 指示の声が聞こえない |
| 声が届かない等 | 25 | 指示の声を大きく |
| 声が届かない等 | 26 | 事前説明が解かりにくい |
| 声が届かない等 | 27 | 指導員の声が小さい |
| 声が届かない等 | 28 | 使用拡声器は聞こえにくい |
| 声が届かない等 | 29 | 説明会が聞こえにくかった |
| 声が届かない等 | 30 | 説明が聞きづらい |
| 声が届かない等 | 31 | 説明が聞こえない。 |
| 声が届かない等 | 32 | 説明時・声を掛け時は聞き取れるマイクを使用すべき |
| 声が届かない等 | 33 | 説明の声が小さい |
| 声が届かない等 | 34 | 体育館での説明が聞こえづらい。聞こえないと不安になる |
| 声が届かない等 | 35 | 流れが解った、現在の状況・その他情報が聞こえにくい |
| 声が届かない等 | 36 | 体育館での案内が聞き取りにくい |
| 声が届かない等 | 37 | 帰宅困難者を誘導する声が小さい |
| 声が届かない等 | 38 | ハンドマイクの音量が小さい |
| 声が届かない等 | 39 | ハンドマイクは聞き取りにくい。 |

| 分類 | 番号 20 自由意見(別紙2) |
|-----------|--|
| 声が聞こえない等 | 40 ハットマイクは聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 41 ハ音が大きくスタッフの声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 42 ハ音が大きくスタッフの声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 43 ヘリコプターの音で声が聞こえなかった |
| 声が聞こえない等 | 44 ハリの音が大きく声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 45 放送が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 46 マイクは大きいものを使用(聞こえない) |
| 声が聞こえない等 | 47 指示が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 48 誘導員の声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 49 誘導員の声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 50 誘導員の声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 51 誘導員の声が小さい |
| 声が聞こえない等 | 52 誘導員の声が小さく何を言っているのか分からない |
| 声が聞こえない等 | 53 案内人の声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 54 拡声器の音が小さく聞きづらい |
| 声が聞こえない等 | 55 声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 56 声が聞こえない |
| 声が聞こえない等 | 57 誘導員が同時に話をするので聞きとにくい、ホードで意思を伝える行為は解り易い |
| 声が聞こえない等 | 58 誘導者の声が小さい、バス先行文字を大きく |
| 声が聞こえない等 | 59 前方で何を話しているか解らない |
| 訓練方法・ルート等 | 1 悪天候、夜間の訓練も必要ではないか。 |
| 訓練方法・ルート等 | 2 井高野行きバスに乗車したが大阪駅前には帰宅困難者は混雑している想定なのに通過する意図は何 |
| 訓練方法・ルート等 | 3 井高野からではなく、市内中心部からの徒歩訓練をすべき。 |
| 訓練方法・ルート等 | 4 移動だけでなく、その場に留まる人(一時避難所の想定グループ)をつくらなければいかか |
| 訓練方法・ルート等 | 5 梅田から歩く実際のコースを実施できればもっと良かった |
| 訓練方法・ルート等 | 6 大阪駅周辺での地下街などで訓練すべきだ |
| 訓練方法・ルート等 | 7 大阪市全域で訓練を行ってほしい |
| 訓練方法・ルート等 | 8 大阪の東部・南部への訓練も実施してほしい |
| 訓練方法・ルート等 | 9 各集場所の明示を明確にする |
| 訓練方法・ルート等 | 10 河川沿いの石畳の道は、災害時には徒歩は困難になる |
| 訓練方法・ルート等 | 11 川沿いに歩くのは怖いと思う。移動中の情報も少ない |
| 訓練方法・ルート等 | 12 今回歩いたルートにはコンビニがなかった |
| 訓練方法・ルート等 | 13 今回のルートは訓練用だが、災害時にはどのルートを使うのか |
| 訓練方法・ルート等 | 14 今後はあらゆる天候を想定して訓練をしていくべきである |
| 訓練方法・ルート等 | 15 帰宅ルートの設定は自分で決定して歩かないと意味がない |
| 訓練方法・ルート等 | 16 各自が判断する訓練も必要と思う |
| 訓練方法・ルート等 | 17 スピーディーに対処できる方法を訓練を通して検討する必要がある |
| 訓練方法・ルート等 | 18 実際の帰宅ルートに近い訓練ルートに参加できる事が良い |
| 訓練方法・ルート等 | 19 実際想定のもと、大阪駅で訓練すべき、コース分けは事前でなくその時点で実施すべき |

| 分類 | 番号 | 20 自由意見(別紙2) |
|-----------|----|---|
| 訓練方法・ルート等 | 20 | 実際に災害が起こったと想定した訓練を行ってほしい |
| 訓練方法・ルート等 | 21 | 実践に即したブランド型の訓練が必要 |
| 訓練方法・ルート等 | 22 | 帰宅困難になった者にはもっと現実的な訓練をしなければ対応は難しいと感じた |
| 訓練方法・ルート等 | 23 | 災害時の緊迫感がない |
| 訓練方法・ルート等 | 24 | 参加者に緊迫感がない |
| 訓練方法・ルート等 | 25 | 参加者への訓練趣旨を明確にしその点を強調するほうが良い |
| 訓練方法・ルート等 | 26 | 実際に災害が発生した時には混乱があり、訓練のようにできるのか |
| 訓練方法・ルート等 | 27 | 実際の帰宅時間に合わせて午後を設定する、より現実的な訓練を望む |
| 訓練方法・ルート等 | 28 | 私は岸和田に住んでいるが船で行けるのか、そのコースも作ってほしい。 |
| 訓練方法・ルート等 | 29 | 天満橋が通行できない場合の代替手段の確保が必要 |
| 訓練方法・ルート等 | 30 | 落橋の危険はないのか。道の狭いところは大丈夫か |
| 訓練方法・ルート等 | 31 | 避難経路の検討・確保が難しい |
| 今後も訓練が必要 | 1 | 行政も会社も定期的な訓練が必要 |
| 今後も訓練が必要 | 2 | 繰り返し・まぎ帰しの訓練が必要、災害意識を高める |
| 今後も訓練が必要 | 3 | 訓練の回数を多く希望、多くの人に慣れてもらわないと |
| 今後も訓練が必要 | 4 | 訓練の継続実施を切望します |
| 今後も訓練が必要 | 5 | 訓練は繰り返しやってほしい |
| 今後も訓練が必要 | 6 | 訓練を継続するほうは良い |
| 今後も訓練が必要 | 7 | 訓練を何度も繰返し実施することで役に立つ |
| 今後も訓練が必要 | 8 | この様な対策は積極的に行ったほうが良い |
| 今後も訓練が必要 | 9 | 今回の訓練は職員、OB等の参加でスムーズに感じたが、実際はパニック・騒動が考えられるため何回も訓練をする必要がある |
| 今後も訓練が必要 | 10 | 次回も参加したい |
| 今後も訓練が必要 | 11 | 次期訓練では市民・商店主も巻き込んで展開していく必要 |
| 今後も訓練が必要 | 12 | 訓練はどのような形でも有効 |
| 今後も訓練が必要 | 13 | 参加者側に危機感が無い、長時間立っていた事が疲れるが良い体験になった、東方面の訓練も実施してほしい(京都、奈良、和歌山等) |
| 今後も訓練が必要 | 14 | 実施することが大切 |
| 今後も訓練が必要 | 15 | 各自がどこまでルールに従えるか、この点を検証する意味でも訓練が必要 |
| 今後も訓練が必要 | 16 | 繰り返し訓練が必要 |
| 今後も訓練が必要 | 17 | 訓練は定期的を実施するほうが良い |
| 今後も訓練が必要 | 18 | 毎年1回は必要 |
| 今後も訓練が必要 | 19 | より多くの一般人も参加へ。季節等も考慮しての訓練実施(真夏・真冬・降雨時)必要 |
| 今後も訓練が必要 | 20 | 第一回の訓練実施ご苦労まででした。是非2回目の訓練楽しみにしています。繰り返し行うことが大切。 |
| 今後も訓練が必要 | 21 | 地区の定期的訓練の重要性、今回程度も有効 |
| 今後も訓練が必要 | 22 | 町会でも、もっと訓練を実施してほしい |
| 今後も訓練が必要 | 23 | 定期的に訓練を実施し、周知する必要がある |
| 今後も訓練が必要 | 24 | 定期的な条件(季節・時間帯等)を変えて実施することが有効 |
| 今後も訓練が必要 | 25 | 日頃からの訓練が重要になる |
| 今後も訓練が必要 | 26 | 防災意識の向上のためにも訓練は重要と思う |
| 今後も訓練が必要 | 27 | 毎年実施するよう、積み重ねで自身の安全確保がとれる |

| 分類 | 番号 | 20 自由意見(別紙2) |
|----------|----|--|
| 今後も訓練が必要 | 28 | 訓練を行ったことは非常に意義がある |
| 情報共有等 | 1 | 案内員は声をかけあって情報共有に務めるべき |
| 情報共有等 | 2 | 大阪府下の情報も知りたい |
| 情報共有等 | 3 | 会場内で待つ間、何をすればよいのか分からない |
| 情報共有等 | 4 | 待機中の情報が少ない、現在の情報を流すべき |
| 情報共有等 | 5 | 帰宅困難者への情報提供を増やしてほしい |
| 情報共有等 | 6 | 拠点でしかリアクセス(情報提供)すべき、 |
| 情報共有等 | 7 | 訓練での伝達情報が伝わらない。工夫が必要である |
| 情報共有等 | 8 | 恒常的な情報掲示が必要かつ有効 |
| 情報共有等 | 9 | 混乱時に正確な情報発信をどのように確保するかが問題 |
| 情報共有等 | 10 | 災害情報やルート情報、エリア情報などを配信すればよい。 |
| 情報共有等 | 11 | 集団に対しての情報伝達をいかにスムーズに行えるか |
| 情報共有等 | 12 | 情報が少なかったのて何をすればよいのか分からなかった |
| 情報共有等 | 13 | 情報伝達がうまく出来ていない、最後に説明を受けて目的が解った |
| 情報共有等 | 14 | 情報伝達が不完全、災害により体が不自由になった時の被害者を落ち着かせる方法が疑問 |
| 情報共有等 | 15 | 情報伝達をわかりやすく、システムができれば良い |
| 情報共有等 | 16 | 情報の確保、伝達の難しさを感じた |
| 情報共有等 | 17 | 情報発信の大切さ |
| 情報共有等 | 18 | 誘導員は前方、後方にも情報を絶えず流すべき |
| 情報共有等 | 19 | 屋外で待機中の情報が少ない |
| 情報共有等 | 20 | 地震規模・震源地の情報を流す |
| 情報共有等 | 21 | フリックが小さい |
| 情報共有等 | 22 | 状況説明が不足していた |
| 情報共有等 | 23 | 不安等を軽減するためには、移動中の情報提供が必要 |
| バスに関するもの | 1 | バスの待ち時間が短かりすぎ |
| バスに関するもの | 2 | 5号車のバスを全体で待つ必要があるか |
| バスに関するもの | 3 | バス待ち時でも暑い中たせたせての待機でなく、バスを利用して車中で待たすべき |
| バスに関するもの | 4 | 各バス前に行先者を整列させるなどスピーディな対応が必要 |
| バスに関するもの | 5 | バス乗車時の集合場所とバス位置が逆ではないか |
| バスに関するもの | 6 | 一斉に乗車させる方が良い |
| バスに関するもの | 7 | バスはピストン運送を考慮していない |
| バスに関するもの | 8 | バス手配が遅い |
| バスに関するもの | 9 | バスの乗車待ちが長かった。 |
| バスに関するもの | 10 | バスの乗車待ちが長すぎる |
| バスに関するもの | 11 | バスの手配等のアクシデントが多すぎた |
| バスに関するもの | 12 | バスを速く出す |
| バスに関するもの | 13 | バスを待つてる意図は何 |
| バスに関するもの | 14 | バス待ち時間が長い |
| 徒歩に関するもの | 1 | 徒歩移動がもっと長くても良い |

| 分類 | 番号 | 20 自由意見 (別紙2) |
|-------------|----|-------------------------------------|
| 徒歩に関するもの | 2 | 徒歩が早く感じた |
| 徒歩に関するもの | 3 | 徒歩で移動中に、コンビニ等がなかった |
| 徒歩に関するもの | 4 | 徒歩で移動中に災害が起きた場合の指示はどうなるのか |
| 徒歩に関するもの | 5 | 歩行距離は長いほうが良い、 |
| 徒歩に関するもの | 6 | 歩行する場所の安全性の確認、水位の上昇等の確認が必要 |
| 徒歩に関するもの | 7 | 街中の歩道が狭い |
| 徒歩に関するもの | 8 | 誘導員の歩くペースが速い |
| 徒歩に関するもの | 9 | 誘導員の歩くペースが速い |
| 行政に対するもの | 1 | 行政と協議会との連絡が重要 |
| 行政に対するもの | 2 | 行政による備蓄物資等の支援が必要 |
| 行政に対するもの | 3 | 警察も参加された方が良い |
| 行政に対するもの | 4 | 支援する側も被災者になっているので対策が必要 |
| 行政に対するもの | 5 | 実際の災害時に行政がどう機能するか問題 |
| 行政に対するもの | 6 | 実際は一層混乱が大きくなると想定されるため行政の冷静な対応が必要となる |
| 行政に対するもの | 7 | 段取りが悪く、主催者の訓練が必要 |
| 行政に対するもの | 8 | 協議会の活動状況の啓発 |
| 訓練時間に関するもの | 1 | 訓練とはいえ、時間がかかりすぎ、説明不足 |
| 訓練時間に関するもの | 2 | 待機時間の意味や重要性の説明が不足している |
| 訓練時間に関するもの | 3 | 立っている時間がほとんどで訓練に参加した気がしない |
| 訓練時間に関するもの | 4 | 待ち時間が長い、効率的な訓練に |
| 訓練時間に関するもの | 5 | ロスタイムが多いので、台本を整備する必要がある |
| 訓練時間に関するもの | 6 | 待機時間が長い |
| 津波に関するもの | 1 | 津波対策が必要、海上輸送船が津波で壊れる |
| 津波に関するもの | 2 | 津波対策についても必要である |
| 津波に関するもの | 3 | 津波被害時に船舶での移動が可能か疑問 |
| 津波に関するもの | 4 | 津波を想定した訓練してほしい |
| 津波に関するもの | 5 | 津波を想定した訓練も必要。都市連携も必要。 |
| 津波に関するもの | 6 | 水上移動は津波等危険性の無い旨を説明して実施する |
| 安否確認等 | 1 | 171の使用方法を普段から知っているほうがよい、 |
| 安否確認等 | 2 | 171は有効だと実感 |
| 安否確認等 | 3 | いざその立場になれば、身の安全確保、家族安否連絡、被災状況を知りたい |
| 安否確認等 | 4 | 災害時の通信手段確保のための教育が必要 |
| 安否確認等 | 5 | 参加者を安心させることが必要。渋滞情報は意味がない。 |
| 船舶に関するもの | 1 | 乗船時に混乱が予測されるので準備が必要 |
| 船舶に関するもの | 2 | 乗船のバリアフリーの確保も必要 |
| 船舶に関するもの | 3 | 水上バスに乗って気持ち良かった。 |
| 船舶に関するもの | 4 | 船舶を多数確保できるか疑問 |
| アンケートに関するもの | 1 | アンケート内容では、データとしては不足、もっと詳細にすべき |
| アンケートに関するもの | 2 | アンケートの質問内容は参考になる |

| 分類 | 番号 | 20 自由意見 (別紙2) |
|-------------|----|--------------------------------------|
| アンケートに関するもの | 3 | アンケートは市職員用と一般用と別ける方が良い |
| 要保護者 | 1 | 体の不自由な人への支援・対応も考えてほしい |
| 要保護者 | 2 | 健常者が車椅子に乗り、杖の人が歩いていました |
| 要保護者 | 3 | 要保護者の設定が少ない |
| 備蓄に関するもの | 1 | 防災グッズ(軍手・帽子・ピンス等)完備の不足 |
| 備蓄に関するもの | 2 | 水等はすぐに不足するので、各自の準備が大切 |
| 感想等 | 1 | 1回目ということで、参考させていただいた |
| 感想等 | 2 | いざという時に、どのように落ち着いて対応するか分かった |
| 感想等 | 3 | 帰宅困難となった時「手段を考える」「無理ならとどまる」を考え行動したい |
| 感想等 | 4 | 行政の努力のほか、市民の意識が大切である |
| 感想等 | 5 | 行政をあてにできないということを実感した。 |
| 感想等 | 6 | 訓練参加で今後の訓練に活かせる事が何点あった |
| 感想等 | 7 | 訓練で大変なので本番はもっと大変 |
| 感想等 | 8 | 訓練により現実感をもてました |
| 感想等 | 9 | 今回の訓練で、意外と大変と感じた |
| 感想等 | 10 | 事前に災害時の帰宅ルートや交通機関を調べようと思った |
| 感想等 | 11 | 自宅まで歩いて帰る |
| 感想等 | 12 | 自宅までの徒歩帰宅のイメージがもてました |
| 感想等 | 13 | 実際に体験して感じることも多く有意義だった |
| 感想等 | 14 | 帰宅困難者側で参加することで今後自分が誘導側に立つ時のために参考になった |
| 感想等 | 15 | 本気の訓練に取組んでほしい。待ち時間がかなり長い |
| 感想等 | 16 | 一般参加者への広報が遅い |
| 感想等 | 17 | 訓練の広報が不十分です |
| 感想等 | 18 | 訓練で得た教訓を活用してほしい |
| 感想等 | 19 | 実際の災害時には、訓練のようなならだららとした行動は出来ない |
| 感想等 | 20 | 災害はいつ起こるか分からないので、平常時からの備えが必要 |
| 感想等 | 21 | 待機時の職員による説明がわかりやすかった |
| 感想等 | 22 | 少しの時間、距離しか歩けなかったが、すごく疲れた。 |
| 感想等 | 23 | 本場の状況が分かったよかったです。事前準備が不足では |
| 感想等 | 24 | もう少し緊迫感がほしい。 |
| 感想等 | 25 | もっと企業参加があれば良い |
| 感想等 | 26 | 勉強になりました |
| 感想等 | 27 | スタッフお疲れ様 |
| 感想等 | 28 | 民間企業スタッフの方ご苦労さま |
| 感想等 | 29 | とどまるか動くかの判断は難しい |
| その他意見 | 1 | 企業規模による災害での取組み姿勢は大きく変わります。 |
| その他意見 | 2 | 帰宅先別の集合場所を予め決めておいた方が良い |
| その他意見 | 3 | 訓練担当者には要領を理解していない人が多かった |
| その他意見 | 4 | 支援物資配給担当が4名では少ない、倍は必要 |

| 分類 | 番号 | 20 自由意見(別紙2) |
|-------|----|--|
| その他意見 | 5 | 市内の地図の配備 |
| その他意見 | 6 | シリオ・動画等をホームページでアップしてほしい |
| その他意見 | 7 | 集合場所がわかりにくい |
| その他意見 | 8 | 集合場所では、座って待っている方がよい。イスが必要 |
| その他意見 | 9 | 傷害保険の登録は事前にしてほしい |
| その他意見 | 10 | スタッフはどこまで協力すればよいかわからない |
| その他意見 | 11 | すばやい指示が必要 |
| その他意見 | 12 | スムーズな移動が必要、混乱時には落ち着いた行動・指示をしっかりと聞く事で2次災害を防ぐ事に繋がる |
| その他意見 | 13 | ゼッケンによるグループ分けは不要、リアリティがない |
| その他意見 | 14 | 説明不足、手順の悪さ |
| その他意見 | 15 | 全体にゆっくりとした行動だが、本番は人数が多いため早さが要求される、緊急点検体制を組んで鉄道を動かす方がよい |
| その他意見 | 16 | 体育館でのグループ分けの情報がない |
| その他意見 | 17 | 手順が判るようになってほしい |
| その他意見 | 18 | 統率が不十分 |
| その他意見 | 19 | 道路横断時の安全確認・誘導がもっと必要 |
| その他意見 | 20 | とどまる施設の確保、案内が重要 |
| その他意見 | 21 | 夏場の熱中症対策 |
| その他意見 | 22 | 橋落下時の対策、地下街への浸水対策 |
| その他意見 | 23 | 避難路の明示 |
| その他意見 | 24 | 防災意識の高揚 |
| その他意見 | 25 | 街のスピーカーやヘリなどで情報伝達が必要 |

アンケート

本日は「徒歩帰宅訓練」にご参加いただき、ありがとうございました。
今後の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力お願いいたします。

1. 性別 男 女 年齢 歳代

2. あなたのお勤め先とご自宅とのおおよそ距離は、どの程度ありますか。
5 km 未満 ~ 10 km ~ 15 km ~ 20 km
20 km 以上 わからない・勤めていない

3. あなたは勤務時間中や外出先で地震等に遭遇し、交通機関が運行停止した場合、まずどのような行動をとりますか。該当する選択肢ひとつに をつけてください。

(1) 家族の安否が確認できない場合 印ひとつ

何としても自宅に帰ろうと努力する

しばらくその場にとどまって様子を見る

近くの駅に行って様子を見る

移動するのはあきらめるが、家族などと連絡を取ろうと努力する

その他 ()

(2) 家族の安否が確認できた場合 印ひとつ

何としても自宅に帰ろうと努力する

しばらくその場にとどまって様子を見る

近くの駅に行って様子を見る

移動するのはあきらめるが、家族などと連絡を取ろうと努力する

その他 ()

4. 歩いて帰宅する際、必要な支援は何ですか 複数回答可

ルートに関する情報提供

交通機関の運行状況等の情報提供

広域的な被災状況の情報提供

水の提供

食糧の提供

休憩場所の提供

トイレの提供

安否確認に係る支援

負傷等の手当

その他 ()

5. 設問4の支援は、どのような施設で行うべきと思いますか？ 複数回答可

コンビニエンスストア

ガソリンスタンド

レストラン等飲食店

宿泊施設

学校

行政機関施設

その他 ()

6. 本日の訓練で参加したことを、どなたかに伝えたり、話されたりしますか。該当するもの全てに をつけてください。

家族

友人

職場の人

近所の人

インターネットで発信

その他 ()

7. 最後に今回の訓練に参加して、訓練内容の改善点やご意見、感想などがありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

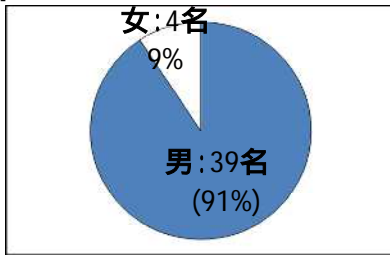
平成23年 徒歩帰宅訓練アンケート結果

回答数: 43名

1. 【性別】

男: 39名

女: 4名



【年齢】

20代: 10名

30代: 5名

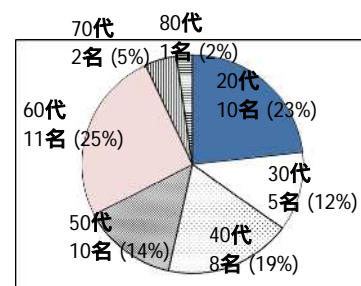
40代: 8名

50代: 6名

60代: 11名

70代: 2名

80代: 1名



2. あなたのお勤め先とご自宅とのおおよそ距離は、どの程度ありますか。

①: 5km未満

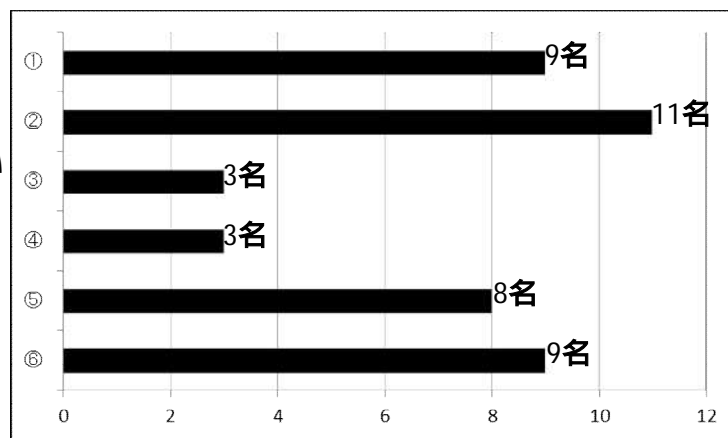
②: ~ 10km

③: ~ 15km

④: ~ 20km

⑤: 20km以上

⑥: わからない・勤めていない



3. あなたは勤務時間中や外出先で地震等に遭遇し、交通機関が運行停止した場合、まずどのような行動をとりますか。

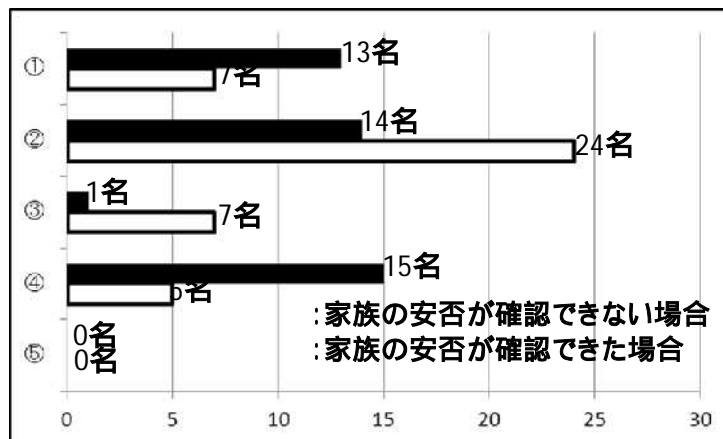
①: 何としても自宅に帰ろうと努力する

②: しばらくその場にとどまって様子をみる

③: 近くの駅に行って様子をみる

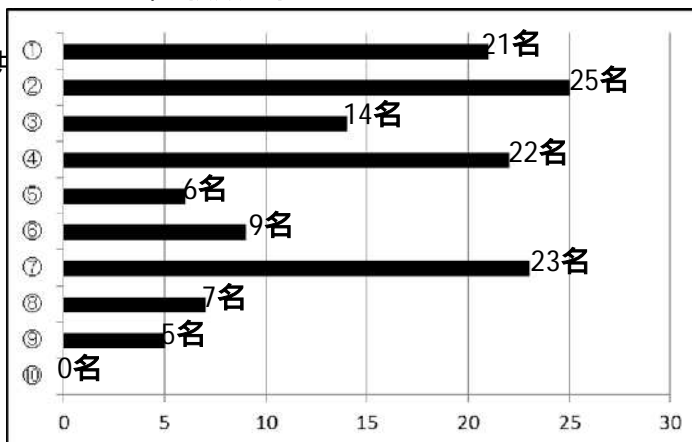
④: 移動するのはあきらめるが、家族などと連絡を取ろうと努力する

⑤: その他



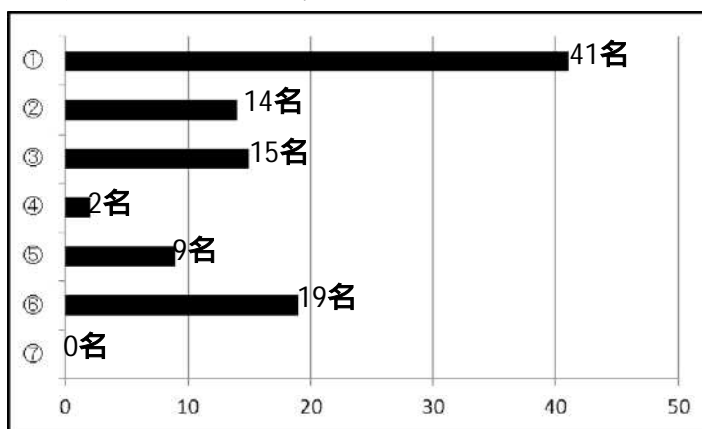
4. 歩いて帰宅する際、必要な支援はなんですか。 複数回答可

- ① ルートに関する情報提供
- ② 交通機関の運行状況等の情報提供
- ③ 広域的な被災状況の情報提供
- ④ 水の提供
- ⑤ 食糧の提供
- ⑥ 休憩場所の提供
- ⑦ トイレの提供
- ⑧ 安否確認
- ⑨ 負傷等の手当
- ⑩ その他



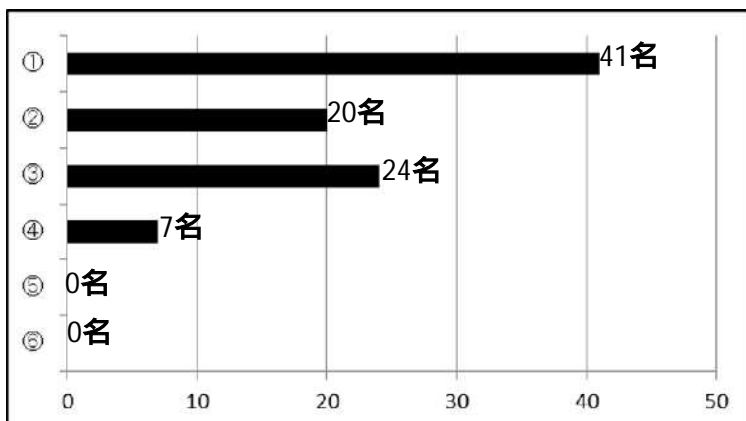
5. 設問4の支援は、どのような場所で行うべきだと思いますか。 複数回答可

- ① コンビニエンスストア
- ② ガソリンスタンド
- ③ レストラン等飲食店
- ④ 宿泊施設
- ⑤ 学校
- ⑥ 行政機関施設
- ⑦ その他



6. 本日の訓練で参加したことを、どなたかに伝えたり、話されたりしますか。 複数回答可

- ① 家族
- ② 友人
- ③ 職場の人
- ④ 近所の人
- ⑤ インターネットで発信
- ⑥ その他



7. 訓練内容の改善点や意見、感想

- ・最初の説明を丁寧に聞こえやすく行ってほしい。
- ・歩くスピードが速かった。休憩の時間がもっと長くしてほしい。
- ・休憩は2回でもいいと思う。
- ・バスでの待機時間が長かった。
- ・もう少し詳しい地図がほしい。
- ・不都合があったと思うが、それらの点を改善して次回実施してほしい。
- ・大阪の中心部を想定するだけでは不十分。広域的な大災害は発生したこのようにスムーズに行くはずがない。
- ・夜間での実施も必要。
- ・幾つかのルートを用意しておき、参加者の判断でその一つを実際に歩いてみる訓練も必要。
- ・行政は企業と連携して、企業組織のなかで社員を守る対策を実施するよう指導すべき。
- ・企業や地域が主体となった取組も必要。
- ・地域の人が見ていたので、のぼりや旗などで訓練を実施してることをアピールしても良いのでは。
- ・どのルートが安全で適切かを情報提供できる体制を整えてほしい。
- ・実際の災害時には、ルートの情報や交通機関の情報がほしい。
- ・徒歩での帰宅は容易ではないことが分かった。
- ・普段からルートの確認をしておくことが大切であると感じた。
- ・歩いて帰るルートを事前に確認しておくことが必要。幹線道路から外れると支援施設のコンタクトが難しいと感じた。
- ・職場に運動靴を置いておく必要がある。
- ・歩くことを体感できて良かった。
- ・支援するコンビニや休憩場所を知ることができて良かった。
- ・初めての体験で良い経験(勉強)になった。
- ・コンビニが支援を行う施設の一つと知って安心した。
- ・今回の訓練は府職員、警備業協会のサポートがあったが、サポートなしの訓練も必要かも。
- ・安全確保、誘導はほぼ良かった。
- ・疲れた。